



ICC Kyoto

会場: 国立京都国際会館

# 京都コンGRESS

第14回国連犯罪防止刑事司法会議

2020年4月20日(月)～27日(月)



○「コンGRESS」とは

… 5年に1度開かれる犯罪防止と刑事司法に関する国連最大規模の会議

# 京都コンGRESS ユースフォーラム

2020年4月13日(月)～15日(水)



○「ユースフォーラム」とは

… 世界の高校生・大学生等の若者たちが、コンGRESSの議題に関連したテーマについて議論を行うもの

## 「京都コンGRESS」の全体テーマ

2030 アジェンダの達成に向けた犯罪防止、  
刑事司法及び法の支配の推進

## 「京都コンGRESS・ユースフォーラム」の全体テーマ

安全・安心な社会の実現へ  
～SDGsの達成に向けた私たちの取組～

## 京都コンGRESSに関する公開シンポジウム

- 2019年 9月8日(日) ～ユースフォーラムに関して～
- 2019年12月7日(土) ～再犯防止に関して～
- 2020年 3月1日(日) ～安全・安心な社会の実現に関して～

【会 場】 国立京都国際会館 Room A



(メインホール)



(Room A)

写真提供: 国立京都国際会館

問合せ先  
法務省大臣官房国際課京都コンGRESS開催準備室  
Mail: [kyotocongress@i.moj.go.jp](mailto:kyotocongress@i.moj.go.jp)  
URL: <http://www.moj.go.jp/KYOTOCONGRESS2020/>





# 第14回国連犯罪防止刑事司法会議（京都コングレス）の開催について



## 概要

【日程】 2020年4月20日(月)～27日(月) (19日 事前準備会)

【会場】 国立京都国際会館

- コングレスは、犯罪防止・刑事司法分野における国連最大規模の国際会議（1955年以降5年ごとに開催）
- 司法大臣・検事総長等を含む各国政府代表団等が参加
- 犯罪防止・刑事司法分野の対策等に関する政治宣言を採択
- 事務局は国連薬物・犯罪事務所（UNODC）
- 日本での開催は、1970年以來50年ぶりの2回目
- 開催地を京都とすることを平成29年8月に閣議了解



(前回京都コングレスの様子)

## 全体テーマ

2030アジェンダ(※)の達成に向けた犯罪防止、刑事司法及び法の支配の推進

※ 国連サミットで採択された行動計画。持続可能な開発目標(SDGs)を掲げている。

- (議題1) 社会的・経済的発展に向けた包括的な犯罪防止戦略
- (議題2) 刑事司法システムが直面する課題に対する統合的なアプローチ
- (議題3) 法の支配の促進に向けた各国政府による多面的アプローチ  
とりわけ、ドーハ宣言に沿って、
  - ・ 全ての人々に司法へのアクセスを提供
  - ・ 効果的で説明責任のある公平かつ包摂的な機関を構築
  - ・ 文化の独自性を尊重しつつ法遵守の文化を醸成することを含む社会的、教育的その他の関連方策を検討
- (議題4) あらゆる形態の犯罪、とりわけ
  - (a) あらゆる形態のテロリズム (b) 新興の犯罪形態を防止し対処するための国際協力及び技術支援

## 前回ドーハコングレス(第13回)

- 2015年4月12日～19日の間、ドーハ(カタール)で開催
- タミーム・カタール首長(王族)、潘基文国連事務総長(当時)、フェドートフ国連薬物・犯罪事務所(UNODC)事務局長のほか、149か国から約4,000人が参加
- 「犯罪防止・刑事司法のより広い国連アジェンダへの統合」をテーマに議論し、「ドーハ宣言」を採択  
→ SDGsのゴール16(平和と公正をすべての人に)に反映

## 開催意義・効果

- 我が国の法の支配の浸透や「世界一安全・安心な社会」を国内外にアピール
- 犯罪防止・刑事司法分野における我が国の国際的なプレゼンスの向上
- 各国における法の支配等の普遍的価値の浸透に寄与し、国内外の経済成長を支える司法インフラの整備促進

➡ 司法外交(司法分野における国内外の取組)を積極的に推進



(ドーハコングレスの様子)



(提供:国立京都国際会館)

# 犯罪防止・刑事司法に関する 京都コングレス・ユースフォーラムの開催について

## 概要

【日程】2020年4月13日・14日・15日

○犯罪防止・刑事司法に関する世界の若者によるフォーラム

○2015年のドーハコングレス(※1)で初めて開催

○京都コングレスに先立って開催予定

(京都コングレスは、同年4月20日から27日に開催)

※1 コングレスとは

5年ごとに開催される犯罪防止・  
刑事司法分野における国連最大  
規模の国際会議

## 目的・意義

○若者の意見をコングレスにおける実務家・専門家の議論に反映

○世界の若者が、将来に繋がるパートナーシップを構築

○ユース・フォーラムの運営や議論を通じて、国際感覚を持った人材を育成

○犯罪防止・刑事司法関連施策(例えば、再犯防止、**法教育の推進**など)に対する**国民的理解を促進**

## 全体テーマ

**安全・安心な社会の実現へ～SDGsの達成に向けた私たちの取組～**

(議題1)「青少年犯罪の予防・罪を犯した青少年の社会復帰における若者の役割」

(議題2)「**法遵守の文化を醸成するための若者の教育**」

(議題3)「安全なネット社会に向けた若者の責任」

## 参加者

○世界から若者(大学生・高校生等)120～150人程度(日本人、外国人それぞれ半々)

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

2030年に向けて  
世界が合意した  
「持続可能な開発目標」です



※2 Sustainable Development Goals: 「持続可能な開発のための2030アジェンダ」。SDGsと略され、「誰ひとり取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年までを期限とする国連で採択された国際目標のこと。